

2015年度	リフレクションペーパー
--------	-------------

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	株式会社論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	片山准一						
授業の到達目標 (シラバスから)	株式会社の発展過程を唯物弁証法的論理を以って、歴史的・論理的に説明できる。株式会社企業が抱える問題点・課題を説明できる。						
日程と内容	1. はじめに 2. 資本の結合 3. ~4. 企業形態の展開 5. 株式会社の経済理論 6. 株式会社の発生日						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	70%	実技 部外評価 プレゼンテーション				
		30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	今回は受講生28名。常時出席者は20名前後。例年より多数の出席状態であった。その結果7名の合格者が出た。最近では最高の合格率であった。今後もこうした状態を維持してほしいものだ。						
反省点	例年、講義中何度も繰り返し同様の質問を行っても、多くの学生はワカリマセンを連発するのみであった。もっとしつこく質問して、答えさせる必要があったのかもしれない。それと最低限の記憶力がなければ毎回同じ質問を投げかけてもノートを見ての回答であつたりしたので、正確に記憶する訓練が必要と思われる。						
来年度の計画	今年は比較的少人数(20名前後)であったので学生諸君も私語もなく、寝たり、途中入退出もなく、静粛且つ緊張感のある講義環境を保てた。教育効果を考えると少人数教育が望ましいと思われる。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケート用紙に「授業がとても分かりやすく興味のある内容だった」や「深く細かいところまで話してくれて興味を持ちました」との感謝の言葉があった。他方で、講義に関しては、ある程度のレベルを維持していかなければならない。受講生側の大いなる努力が必要と思われる。ただ、出席しておればわかるというものでもない。しっかり予習して、講義に臨まなければ意味のないものとなる。アンケートの中にも「1時間未満の予習」が大半であった。また、講義において最低限の集中力、記憶力、理解力が必須と思われる。						
履修登録者数	28名	定期試験 受験者数	20名	合格者数	7名	合格率	35%